

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記検査項目の専用採取セットにつきまして、製造販売元ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社より変更の連絡がありましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

変更期日

平成29年11月13日より 順次変更

変更内容


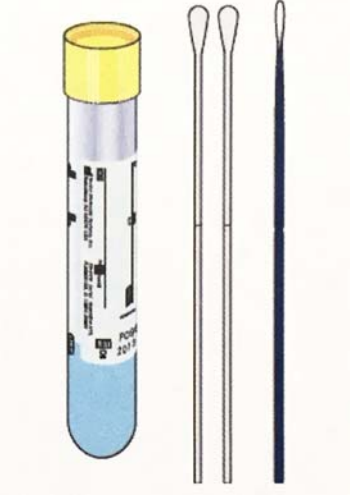

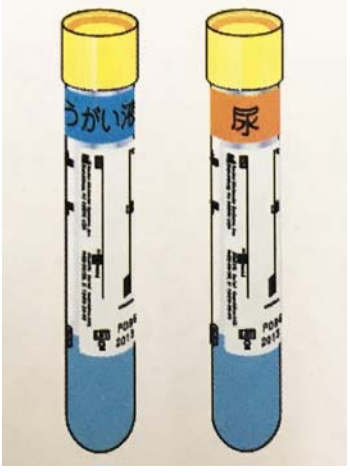
- クラミジア・トラコマチスDNA<PCR>(尿)
- クラミジア・トラコマチスDNA<PCR>(うがい液)
- クラミジア・トラコマチスDNA<PCR>(子宮頸部擦過細胞)
- 淋菌DNA<PCR>(尿)
- 淋菌DNA<PCR>(うがい液)
- 淋菌DNA<PCR>(子宮頸部擦過細胞)
- 淋菌/クラミジア・トラコマチス同時測定DNA<PCR>(尿)
- 淋菌/クラミジア・トラコマチス同時測定DNA<PCR>(うがい液)
- 淋菌/クラミジア・トラコマチス同時測定DNA<PCR>(子宮頸部擦過細胞)

※ 詳細につきましては、裏面、別紙の内容をご参照願います。

(株)チューケン日本医薬中央研究所

熊本支社: 熊本市東区東野1-3-38 TEL(096)360-3065

URL:<http://www.chuken-group.co.jp>

検査項目	新容器	現容器
<ul style="list-style-type: none"> ● クラミジア・トラコマチスDNA<PCR> (子宮頸部擦過細胞) ● 淋菌DNA<PCR> (子宮頸部擦過細胞) ● 淋菌／クラミジア・トラコマチス同時測定DNA<PCR>(子宮頸部擦過細胞) 		
<ul style="list-style-type: none"> ● クラミジア・トラコマチスDNA<PCR> (尿) ● クラミジア・トラコマチスDNA<PCR> (うがい液) ● 淋菌DNA<PCR>(尿) 淋菌DNA<PCR>(うがい液) ● 淋菌／クラミジア・トラコマチス同時測定DNA<PCR>(尿) ● 淋菌／クラミジア・トラコマチス同時測定DNA<PCR>(うがい液) 		

◆ 相関性結果 (試薬メーカー資料)

クラミジア・トラコマチス		現容器	
		フロックスワブ(+)	フロックスワブ(-)
新容器	フロックスワブ(+)	115	2
	フロックスワブ(-)	5	1828

全体的中率 : 99.6%

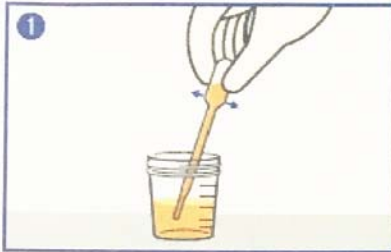
淋菌		現容器	
		フロックスワブ(+)	フロックスワブ(-)
新容器	フロックスワブ(+)	21	2
	フロックスワブ(-)	1	1926

全体的中率 : 99.8%

淋菌/クラミジア・トラコマチスDNA【PCR】の検体採取方法と保存方法

《尿》

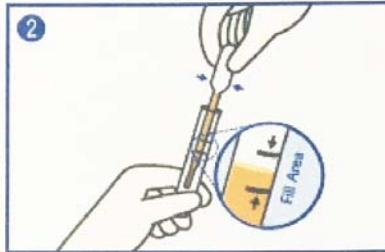
使用容器：エ2



尿検体の採取

滅菌済み容器に初尿を採取します。滅菌済みスポイトを用いて、初尿を専用容器に移します。

【注意】初尿は採取後2～30℃で24時間以内に専用容器に移してください。



専用容器に記載されている2つのラインの間に収まるように初尿を加えてください。



尿検体の保存

専用容器の蓋をしっかりと閉めてください。



専用容器を5回転倒混和させてください。

検体採取上の採取

- 初尿は専用容器に記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。
 - 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られないことがあります。
 - 初尿は2～30℃で24時間以内に専用容器に移してください。
- 尿検体を保存した専用容器は2～30℃で12ヶ月安定です。

一般的な注意

- 女性の尿を採取する前は消毒しないでください。
- 月経中の患者からは尿検体を採取しないでください。
- 最後の排尿から少なくとも1時間以上経過していることを確認してください。
- 専用容器の液体の飛散に十分ご注意ください。
- 専用容器は絶対に凍結させないでください。

《うがい液》

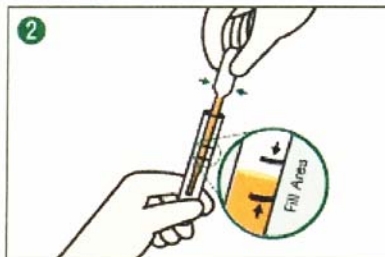
使用容器：エ2



うがいの仕方

生理食塩水（日局方など）をコップに15～20 mL入れてください。生理食塩水15～20 mLを口に含み、顔を上に向けて10～20秒間、勢よく“ガラガラ”とうがいを行います。

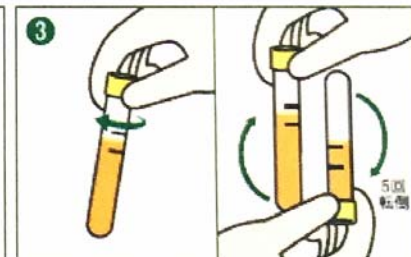
【注意】口に含んで吐き出した液とうがい用容器に残した液を合わせて“うがい液”とします。



検体輸送液への懸濁

“うがい液”全量をうがい用容器に回収し、スポイトで専用容器（尿・うがい用）に必要な量添加します。

【注意】“うがい液”は専用容器に記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。



検体容器の保管

専用容器の蓋をしっかりと閉めてください。専用容器を5回転倒混和させてください。

検体採取上の採取

- うがい液は専用容器に記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。
 - 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られないことがあります。
- うがい液検体を保存した専用容器は2～30℃で12ヶ月安定です。
- うがい液を専用容器に入れない場合は2～8℃で輸送してください。採取から10日以内に専用容器に入れて下さい。

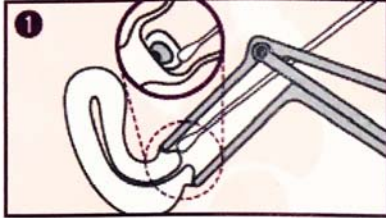
一般的な注意

- 検体採取前の食事・うがい・歯磨き・ガムを噛むことなどは避けてください。
- 専用容器の液体の飛散に十分ご注意ください。
- 専用容器は絶対に凍結させないでください。

淋菌/クラミジア・トラコマチスDNA【PCR】の検体採取方法と保存方法

《子宮頸管擦過細胞》

使用容器：エ1



子宮頸部の粘液除去

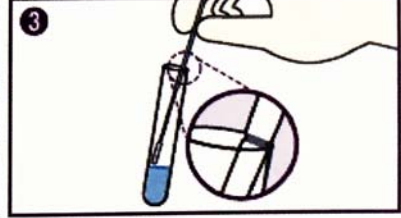
スワブ検体採取セット付属の粘液除去用ドライスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を充分拭い取ります。

【注意】粘液を拭ったスワブは廃棄します。



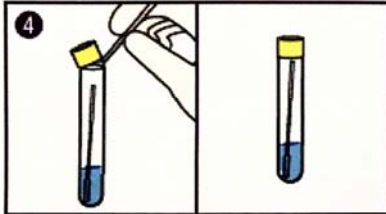
子宮頸部検体の採取

付属されている検体採取用フロックスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向にそっと5回スワブを回します。(回し過ぎないでください。) スワブを引き抜く際は膣の粘膜に触れないように注意してください。



子宮頸部検体の保存

専用容器のキャップを開けます。採取したフロックスワブを専用容器に入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。



専用容器の縁を利用して、キャップで黒い線をはさむようにして折ります。専用容器のキャップをしっかりと閉めます。

【注意】手元に残った折られた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。

検体採取上の採取

- スワブ検体採取セット付属の検体採取スワブ以外は使用しないでください。
- 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない事があります。
- 粘液を十分除いてから検体を採取してください。
- 専用容器には検体を採取したスワブのみ入れてください。
スワブを保存した専用容器は2～30℃で12ヶ月安定です。

一般的な注意

- 子宮頸管検体を採取する前にスワブを専用容器に浸さないでください。
- 専用容器の液体の飛散に十分ご注意ください。
- 検体を採取したスワブは速やかに専用容器に入れて下さい。
- 専用容器は絶対に凍結させないでください